

**平成30年度**  
**活動計画および収支予算について**

自 平成30年 4月 1日  
至 平成31年 3月31日

平成30年7月

**日本脱塩協会**  
(Japan Desalination Association)

# 平成30年度活動計画および収支予算

## 目 次

I. 平成30年度活動計画	3
II. 平成30年度収支予算	6

## I. 平成 30 年度活動計画(第3号議案)

### I. 1 会務及び会議

#### (1) 理事会

年2回以上開催する。

#### (2) 総会

年1回の定期総会を開催する。必要に応じて臨時総会を開催する。

### I. 2 委員会活動

<\_は 30 年度からの変更内容>

委員会名称	委員長	委員 *1	業務内容
IDA 委員会	黒川	栗原、藤原、 <u>房岡</u>	IDA 活動
APDA 委員会	栗原	岩橋、藤原、黒川	APDA 活動
<u>広報・次世代委員会</u>	松井	全委員会の委員長	広報・情報発信活動 ホームページ、展示会出展 <u>次世代リーダー発掘</u>
JDA フォーラム委員会	岩橋	黒川、東郷、滝沢、松山、 松井、栗原、小川	JDA フォーラム開催
今後のビジョン委員会	<u>岩橋</u>	岩橋、藤原、黒川、房岡、 <u>中村</u> 、東郷、松井、別府	将来展望検討
<u>表彰委員会</u>	秋谷	<u>栗原</u> 、東郷、竹内	功労賞、特別賞の受賞者選考

(注) \*1:委員長の判断にて委員を委嘱することができる。

### I. 2. 1 IDA 委員会の活動

2018 年 IDA 理事会に JDA 代表を派遣する。

1. April 18, 2018 - Paris France

2. October 26, 2018 - Madrid Spain

(参考) 2018-2019 年に開催される主な国際会議は次のとおり。必要に応じて JDA 代表を派遣する。

1) The IDA Board Meetings for 2018, April 18, 2018

2) Ozwater18, May 8-May 10, 2018, Brisbane, Australia

3) CaribDA 2018 – Biennial Conference & Exposition, May 29-June 1, 2018, Curacao

4) 2018 IDA International Water Reuse and Recycling Conference, June 24 - 27, 2018, Valencia, Spain

5) Singapore International Water Week 2018, July 8-12, 2018, Singapore

6) Desalination for the Environment Clean Water and Energy, September 3-6, 2018, Athens, Greece

7) International Water Association (IWA), September 16-21, 2018, Tokyo, Japan

8) IDA 2019 World Congress on Water Reuse and Desalination, October 20-24, 2019, Dubai, UAE

### I. 2. 2 APDA 委員会

次期 APDA 理事会及び SWA-APDA Joint Conference を SIWW (Singapore International Water Week) 期間中の 2018 年 7 月 11 日にシンガポールで開催する。

<http://www.apda.asia/en/index.aspx>

<http://www.apda.asia/en/newsin.aspx?newsid=71>

### I. 2. 3 広報・次世代委員会

#### 1. 講習会の活動

会員のための情報共有の一環として、水処理業界の最新動向に基づいた講習会などを企画する。

#### 2. 勉強会の実施

海水淡水化及び、再生水等に関わる技術、事業動向について会員の認識を高め、啓蒙を目的とした勉強会を企画する。

#### 3. ホームページにおける会員専用情報の充実

会員向け専用の発信情報を充実させるため、ホームページのセキュリティを強化のうえ専用ペ

ージを開設する。また、会員向け情報の発信を開始する。

#### 4. 情報発信活動

IDA、WDR、D&WR 等への投稿を試み、他組織の活動をホームページ上でも紹介する。

### I. 2. 4 JDA フォーラム委員会

近年の厳しい財政状況を鑑みれば、もはやフォーラム単体での赤字は許されない。一方過去 10 年、および昨年度の実績を踏まえれば、ほぼ例年相当額の赤字になっており、JDA フォーラムのあり方を抜本的に検討し直す時期と思われる。早急に開催の時期と場所、参加料、および公的資金の活用可能性などを検討して、遅くとも来年度からのフォーラムにて実現を図って行きたい。

### I. 2. 5 今後のビジョン委員会

JDA 活性化の一環として、法人化の検 (NPO 法人が対象) を行っていきたい。検討を実施する主体として、会長と3副会長、および松井理事と竹内理事、から成る検討委員会を本委員会に置き、今年末を目途に主に事業計画の策定を行う。検討結果を踏まえた具体策に関しては、必要に応じ臨時総会の開催も視野に入れる。

### I. 2. 6 表彰委員会

本年度は、丸山委員の退会のため、委員 3 名 (秋谷委員長、東郷委員、竹内委員) にて、2 月より選考を開始し、4 月 3 日の委員会にて、本年度表彰対象者を絞り込み、会長に推薦を行った。7 月に予定されている次期 JDA 総会に於いて表彰者への賞状・賞牌または記念品の授与を行う。

## II. 平成30年度収支予算(案)

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:円)

勘定科目	補助科目	29年度予算 /A	30年度予算 /B	差異	備考
1. 事業活動収入		<b>(B-A)</b>			
会議収入	法人会費	2,300,000	2,500,000	200,000	23⇒25 (新規入会3社、退会1社) 10万円/年
	個人会費I	140,000	130,000	-10,000	14⇒13 (前年実績) 1万円/年
	個人会費II	10,000	5,000	-5,000	2⇒1 (前年実績) 5千円/年
	計	<b>2,450,000</b>	<b>2,635,000</b>	185,000	
会議費等参加収入	総会	240,000	160,000	-80,000	前値実績161,000
事業活動収入計		<b>2,690,000</b>	<b>2,795,000</b>	105,000	
2. 事業活動支出		<b>(A-B)</b>			
会議費	総会費	50,000	50,000	0	前年実績39,690
	懇親会費	150,000	150,000	0	前年実績173,000
	理事会費	0	0	0	前年実績1,512
	分科会費	0	0	0	
	計	<b>200,000</b>	<b>200,000</b>	0	
セミナー費	インターアクト展示	200,000	200,000	0	前年実績125,600
	翻訳代	30,000	30,000	0	前年実績 0
	国内セミナー	0	0	0	前年実績41,662 JCD折半負担分
	計	<b>230,000</b>	<b>230,000</b>	0	
旅費交通費	国際会議旅費交通費	0	0	0	
諸会費	国際会議参加費	0	0	0	
運営費	通信費	70,000	70,000	0	前年実績78,877
	輸送費	10,000	10,000	0	前年実績0
	振込手数料	15,000	15,000	0	前年実績11,124
	旅費交通費	60,000	60,000	0	前年実績15,417
	事務用品費	25,000	25,000	0	前年実績18,365
	印刷費	25,000	25,000	0	前年実績7,150
	新聞図書費	0	0	0	前年実績 0
	HP維持・更新費	0	300,000	-300,000	前年実績199,800、コンテンツ充実、維持費30,000(Jimdo)
	その他	50,000	150,000	-100,000	前年実績(表彰) 47,054 新事務所備品100,000
計	<b>255,000</b>	<b>655,000</b>	<b>-400,000</b>		
業務委託費		<b>1,000,000</b>	<b>900,000</b>	100,000	前年実績794,272
賃貸料	事務所家賃	981,072	875,464	105,608	賃料83,002 (~201807) 賃料67,932 (201807~)
	パソコンリース	0	0	0	前年実績 0
	計	<b>981,072</b>	<b>875,464</b>	105,608	
予備費		<b>400,000</b>	<b>300,000</b>	100,000	JDA活動活性化、法人化検討等
事業活動支出計		<b>3,066,072</b>	<b>3,160,464</b>	<b>-94,392</b>	
3. 事業外収益		<b>(B-A)</b>			
預金利子		483	483	0	
事業活動支出額		-376,072	-365,464	10,608	
当期収支差額		-375,589	-364,981	10,608	
前期繰越収支額		2,124,727	2,083,765	-40,962	次期繰越額は正味財産
次期繰越収支額		1,749,138	1,718,784	-30,354	